

令和3年度決算の概要

1. 業務状況について

伊勢崎市民病院は、良質な医療を継続して提供できる体制を構築するために令和3年度から令和5年度までを対象期間とする「伊勢崎市民病院新改革プラン継続計画」を独自に策定し、経営改革に取り組んでおります。

施設の整備については、救急医療の質の向上を図るため、救急センターの整備を行いました。医療機器等の整備としては、手術支援ロボットの更新、その他、老朽化した医療機器の更新を図り、患者の安全性の確保や負担軽減に努めました。

これからも、地域医療機関との連携を図り、紹介患者の受入体制の拡充等を積極的に進め、地域医療支援病院として紹介患者の確保に努めるとともに、市民が求める医療を適正に実現し、市民の健康と安心に寄与するため、良質な医療を継続して提供してまいります。

2. 財政状況について

医業収支については、入院、外来ともに患者数が増加し、収益が増加した一方で、費用は増加し修正医業収支比率は95.93%になりましたが、補助金の交付による医業外収益の増加から、純利益は779,901千円となりました。今後とも、事業費用の経費縮減等、一層の経営健全化に取り組んでまいります。

令和3年度財務執行状況（損益計算書より）

収益		(単位：千円)		
科目	令和2年度	令和3年度	増減	
病院事業収益 (a)	16,128,342	16,909,748	781,406	
医業収益	13,664,534	14,592,694	928,160	
入院収益	9,061,395	9,310,857	249,462	
外来収益	4,198,217	4,755,612	557,395	
その他医業収益	404,922	526,225	121,303	
医業外収益	2,209,183	2,317,054	107,871	
特別利益	254,625	0	▲ 254,625	
費用				
科目	令和2年度	令和3年度	増減	
病院事業費用 (b)	15,888,626	16,129,847	241,221	
医業費用	14,767,604	15,212,490	444,886	
給与費	7,699,084	7,676,001	▲ 23,083	
材料費	4,276,207	4,632,547	356,340	
経費	1,910,632	1,958,852	48,220	
減価償却費	782,025	868,113	86,088	
その他(研究研修費等)	99,656	76,977	▲ 22,679	
医業外費用	866,397	917,357	50,960	
特別損失	254,625	0	▲ 254,625	
純損益 (a-b)	239,716	779,901	540,185	

(単位：百万円)

